

普及活動情勢報告（令和元年 5 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

ニラの調製作業をカイゼン！



5月17日、ニラの調製作業効率化のため、カイゼンマイスター及びカイゼン研修参加者（環境農業推進課職員、普及指導員）、JA 営農指導員1名が参加し、香美市のニラ農家の調製作業場で現状を調査しました。農業改良普及課は、農家選定や日程調整を行うとともに、作業工程や作業スケジュールを参加者に説明しました。調査後、参加者が作業ビデオを確認しながら、作業場のレイアウトや作業効率化のためのポイント・改善点について意見交換や提案を出し合いました。

今後、農業改良普及課は、提案事項等をもとに農家と話し合っ改善取組項目を抽出し、作業の効率化を進めていきます。

効率的に集落の農地を守り続けていくために ～南国市稲生集落 集落営農検討会～



4月23日、稲生集落の集落営農志向者らで集落営農検討会が開催され、関係機関を含めて15名が参加しました。

農業改良普及課は、市と協力して事前に発起人と内容や資料等について打合せを行い、検討会の準備を支援しました。

当日は、集落の現状やこれまでに出了された意向を共有し、組織化に向けた進め方などを話し合いました。

「集落営農を進めるために、まずは耕作しやすい体制整備に向けて農地の集約化を進めよう。」といった方向に参加者の意見が整理され、次回までに賛同者を募ることになりました。

引き続き話し合いの場へ参加し、組織化を支援していきます。

今年のユズの生産量は？物部柚子生産部会が着花量調査を実施



JA 高知県香美地区物部柚子生産部会は、5月14日と15日に香美市内のユズ着花量調査を行い、部会役員等8名が参加しました。

この巡回調査は、産地の生産状況を市場等へ伝えることを目的に、毎年実施しています。農業改良普及課は、事前に開花や新規就農者の栽培状況について情報提供を行い、調査日時や巡回ルート決定を支援しました。

今後も農業改良普及課では、ユズの安定生産と消費地との信頼関係構築に向けた産地の取り組みを支援します。

セル苗を利用したオクラの機械移植試験を実施しました！



4月27日、(株)南国スタイルのほ場でセル苗を利用したオクラの機械移植試験を実施しました。

機械移植による労力の軽減や、作業委託の取組により高齢者や機械を所有していなくても栽培を始められることを目的としています。今回の試験では、オペレーター2名が約100m(2a)のうねを約20分で移植することができ、「労力軽減につながり、100%の発芽は魅力」などの声が聞かれました。一方、移植適期が短く、移植後の管理に課題が残りました。

農業改良普及課では、オクラの生産安定と省力化に向けて引き続き支援していきます。

JA高知県香美地区フルーツトマト部会役員会が活動計画を作成



4月25日、JA高知県香美地区フルーツトマト部会が役員会を開催し、生産者4名、JAの営農指導員および販売担当も加り、今年度の活動計画を協議しました。

農業改良普及課は、栽培管理の指標づくりや担い手育成の体制整備等について提案をし、生産者からは「県外の栽培も見てみたい」「部会として研修生等に技術指導をしていかないかんね」といった意見が出され、次年度は、県外への視察研修や指導農業士の推薦等、新たな活動に取り組むことが決定されました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力して部会の生産安定と産地強化を図っていきます。

若手農業者の目標となる新たな青年農業士を確保！ ～青年農業士 中央東ブロック役員会～



5月9日、中央東ブロックの青年農業士役員会が開催されました。中央東ブロックには現在36名の青年農業士が在籍していますが、3年以内に11名が46歳の定年をむかえます。現在のような活発な活動を継続していくためには、新たな青年農業士の確保が急務となっていることから、役員会では青年農業士の候補者を検討しました。また、7月の研修活動についても協議され、IoTなどの勉強のため県外農機具メーカーの工場見学に行く案などが出されました。引き続き、地域の若手農業者の積極的な活動を支援していきます。